

# 令和7年度第3回北見警察署協議会議事概要

## 1 開催日時

令和7年12月12日（金曜日）

午後4時00分から午後5時30分までの間

## 2 開催場所

北見方面本部 303号会議室

## 3 出席者

### (1) 協議会委員 8人（定員9人）

会長	鹿又	百合子
副会長	村井	一介
委員	遠藤	昌昭
委員	近藤	千鶴
委員	白川	未緒
委員	小野	良次
委員	鈴木	聖陽
委員	村松	登喜男

（任期等及び五十音順）

### (2) 警察署 6人

署長	谷島	拓人
副署長	永安	弘幸
刑事生活安全官	瀧谷	研
地域交通官	村上	悟
警務課長	中田	拓
交通課長	鶴川	英一郎

## 4 協議会会長挨拶

2025年も残すところあとわずかになりましたが、先日暴風雪警報も発表され、皆さま車を運転する際は事故などお気を付け下さい。

そして今日は、「冬期間における交通事故の防止について」協議するところでありまして、沢山勉強させていただきますので、どうぞよろしくお願い致します。

## 5 北見警察署長挨拶

皆さまお疲れ様でございます。師走の忙しい時、そして足下の悪い時に第3回警察署協議会にご参加していただきまして誠にありがとうございます。

本日は、「冬期間における交通事故について」というテーマで進めさせていただき

ます。

北海道の交通事故情勢は、昨日現在で124名の方がお亡くなりになり、昨年同期比で28名の増加となっております。

都道府県別ではワースト3位で、ワースト1位が東京都ですが、死亡者数が127人で、3名の差しかないという状況で、ワーストワンになつてもおかしくない状態です。

北見方面につきましては、他の方面と比べて、昨年に比べ、増加率が群を抜いて高いため、危機感を覚えております。

また、今週月曜日と水曜日に全道で合わせて5件、そして5名の方が亡くなる死亡事故が発生し、今日付で北海道知事から警報が発令されている状況となりますが、5件のうち、2件が北見方面の事故となっております。

1件目は湧別町計呂地の道道で起きた事故、もう1件が滝上原野の国道で起きた事故となります。

いずれもスリップ事故と思われ、スリップして反対車線に出た車と正面衝突し、はみ出した車両の運転手さんが2人ともお亡くなりになっています。

昨日は、紋別市内で運転手から見て、左側から飛び出して来た女性と衝突し、骨折させたにもかかわらず、そのまま逃走したというひき逃げ事件が発生しております。

このような交通事故情勢でありますので、本日お話をさせていただく中身を皆様方ご理解いただきながら、ご家庭や職場で少しでも多くの方に広めていただきたい、何事もなく、新年を迎えることが出来るようにしていただきたいと思います。

## 6 業務概況説明

冬期間における交通事故防止について（交通課長）

## 7 質疑応答等

### (1) 質疑応答

まず、事前に委員からご意見のあった件について検討したいと思います。

ニトリ北見店前の国道39号線と市道の交差する信号機について

信号機が黄色に変わっても進入してくる車両が多い状況なので

矢印式信号機や時差式信号機の設置ができないか

とのことですが、いかがでしょうか。

【警察署】 ニトリ北見店前の交差点については、右折車線が設けられていますので、信号機を矢印式に変更することは物理的には可能であります。

しかしながら、矢印式に変更すると、市道の右折時間を確保する代わりに、国道39号自体と、市道の直進車両の流れを止める時間が発生することとなります。

先日、同交差点が混雑する朝夕の時間帯の交通状況について調査を実施ましたが、1回の信号待ちで右折ができなかつた車両は朝夕の合わせて3時間の間にわずか2台だけでした。

このわずか2台の車を優先的に右折させるために矢印式に変更するこ

とは、かえって交通の流れを悪くし、合理性を欠くこととなると、現状では考えております。

【委 員】 南大通と小町泉通の交差点で事故が起きていますが、見通しが悪く、右折する車両が止まっていても見えない状況ですし、小町泉通は一方通行ということもありますし、混乱する場所なので、右折用信号機を設置するか、道路に右折区分を設置するかしていただきたいのですが。

【警察署】 まずは、現地を確認させて頂きたいと思います。

(3) 次回討議内容検討

次回討議内容について協議した結果、「災害について」に決定した。

(4) 次回の開催予定について

令和8年2月の最終週または3月の第1週の開催を予定

(5) 交通取締用自動車の見学

署前にて交通取締用自動車の見学を実施した。